

# 四国の気象と降水量を見てみよう！

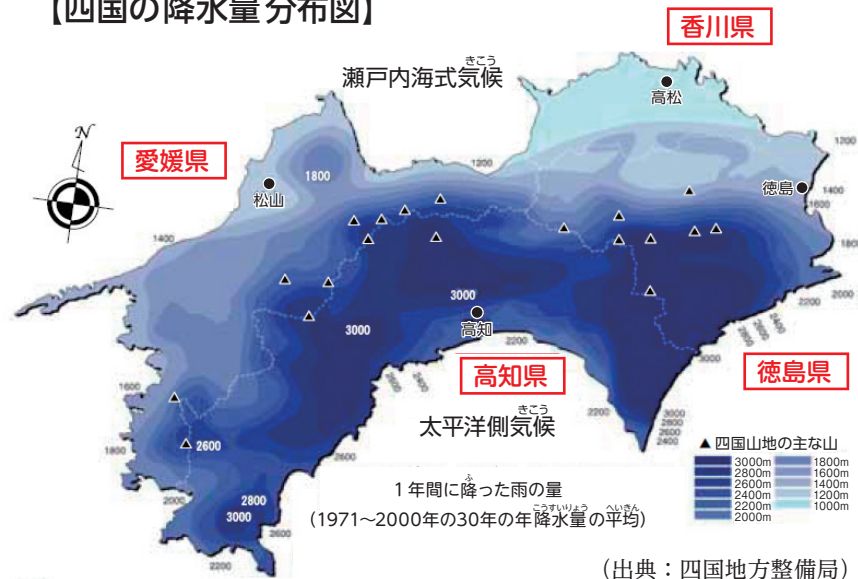
私たちが住んでいる地域に降る雨の量や気温には、どんな変化があるのかな？

## 雨の降る量を見てみよう！

四国の南側に位置する高知県は、太平洋に面しているので台風の通り道にあたり、降水量が多い地域です（太平洋側気候）。

四国の北側に位置する香川県と愛媛県東予地域は瀬戸内海気候帯に属し、温暖ですが降水量は少ない地域です。

### 【四国の降水量分布図】



雨はどの県によく降るのかな？



雨の少ない瀬戸内海側では、昔から雨乞い行事が行われてきました。中でも香川県綾川町の「滝宮念仏踊り(写真)」とまんのう町の「綾子踊り」は、有名です。



(出典：香川県)

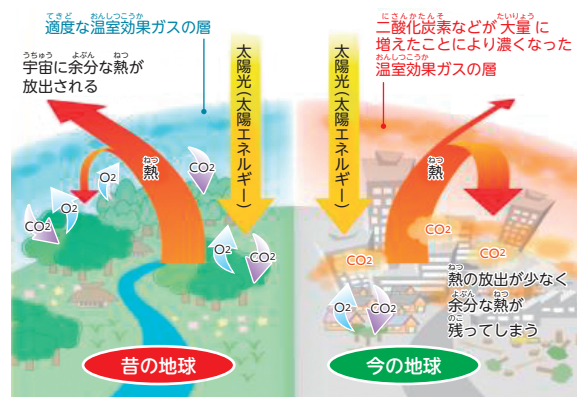
雨の多い高知県南東部では、「水切り瓦」などで建物の壁を保護する工夫がみられます。



(出典：室戸市教育委員会)

四国の中でも、雨がよく降る地域と少ない地域があるね。雨が降りやすい地域では、昔から洪水がたくさんおこった歴史があるんだ。逆に雨が少なくて、昔から水不足で困っていたんだ。みんなが住んでいる地域の水についての歴史も調べてみてね。

## 気候の変化による影響



地球温暖化のしくみ (出典：環境省)

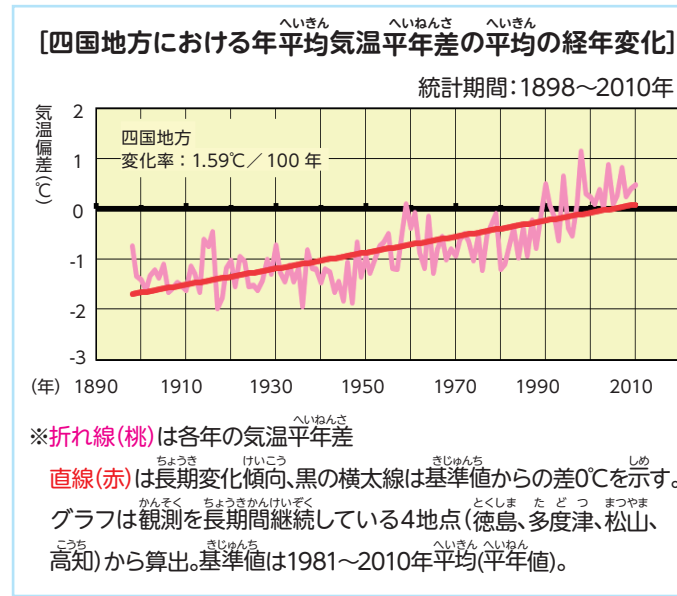
気候の変化がおこるのは、自然の現象ばかりでなく、私たち人間の活動が原因となっていると考えられています。

人間の活動によって、二酸化炭素などの温室効果ガスが出されたり、森林が破壊されたりしています。地球が温暖化すると気候や雨が降る量にどのような影響が出るのでしょうか？

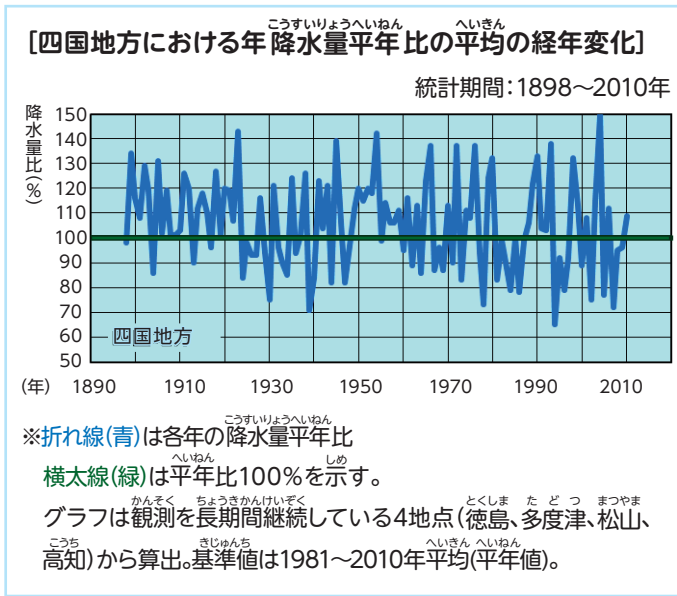
四国でも、地球温暖化が進むことにより、大雨の降る回数が増えて水害や土砂災害も増えることが心配されます。同時に、瀬戸内海側では、今までより渇水が増えるおそれがあります。このような影響に対して、私たちは備えをしなければなりません。

### 【四国地域における気温と降水量の長期変動】

四国地方の気温は、長期的に高くなってきていて、100年あたり1.59℃(1898年~2010年)の割合で上昇しています。降水量は、最近の30年間は特に雨の降る量が極端に多い年と少ない年の差が大きくなっています。



(出典：気象庁大阪管区気象台)



### コラム 平成の大渇水

平成6年は日本各地で春から雨が少なく、四国地方では、7月2日に梅雨が明け、梅雨時期の降水量は平年の半分以下でした。香川県や愛媛県では、給水制限が行われました。学校でも、運動会の予定時間を短くしたり、給食は水をあまり使わないメニューに変えたり、洗わずにくり返し使えるビニールをはった食器に変えたりするなど、水の使用を少なくする工夫をしました。トイレでもバケツなどにためた水を使って、水を流すなどしていました。



(左) 渇水により湖底が現れた  
早明浦ダム(平成6年)  
(出典：四国地方整備局)  
(右) 小学校などに設置された  
臨時的給水所(高松市内)  
(出典：高松市上下水道局)

### ことば集

あまご おど 雨乞い踊り	昔、雨の降らない日が続いた時、神に雨を降らせてほしいとお願いして踊った踊りです。そして、雨が降ると今度は、感謝の踊りを行いました。四国には、水にまつわる伝説がたくさんあります。
かつすい 渇水	雨が降る量が少なく水(水源)が無くなりそうな状況のこと
おんしつこうか 温室効果ガス	大気中の二酸化炭素やメタンなどのガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表をあたためるはたらきがあります。これらのガスを温室効果ガスといいます。

### クイズ Q. この写真の道具は何をするものかな？



- ① せんたく 洗濯をする道具
- ② 水の管理をする道具
- ③ 大工道具箱

(出典：香川県)